

札幌市が抱える課題について、市民の皆さんと一緒に考えていくための企画です。

どらなる？ 市営交通

昭和2年に開業して今年で75周年を迎える市営交通は、近年、乗客数の減少などで赤字が膨らみ、事業そのものが大きな変革を迫られています。今回は、その経営状況と、昨年末に策定した事業改革プランを紹介します。

まずは、市営交通の三つの輸送機関が語る事業の現状をお聞きください。

内容に関するお問い合わせは交通局財務課 ☎896 - 2719へ

3者
会談

厳しい市営交通の経営状況

市営交通の歴史は、私から始まりました。地元の方々に愛着を持たれ、最近では、私のことを見直す動きも盛り上がっているんですよ。でも、車両や施設の老朽化が進んでいて、将来への悩みの種になっているんです。

平成14年度予算
2.8億円の赤字



路面電車

平成14年度予算
44.2億円の赤字



市営バス

地下鉄駅などうまく連絡するよう、市内に路線が張り巡らされていて小回りの利く存在なんです。でも、自動車や自転車を使う人が増え、バス離れが進んでいるんです。

平成14年度予算
176.5億円の赤字



地下鉄

大雪の日でも、お客さんに乗せて確実に走る、北国には欠かせない輸送機関です。でも、建設コストがかさむため、借入金の返済に長い年月を要するという悩みがあり、市営交通の赤字の大半を占めているんです。